

CUCOとして初受賞！2023年 日本コンクリート工学会賞 技術賞 Information

鹿島が竹中工務店、日本コンクリート工業らと開発した「建設施工現場の省人化と CO₂ 削減を同時に達成するコンクリート技術」が、2023年日本コンクリート工学会賞技術賞を受賞し、2023年6月22日、都市センターホテル（東京都千代田区）において表彰式が行われました。

日本コンクリート工学会賞技術賞は、2020年9月から2022年8月までの間に刊行された論文または報告を対象として、コンクリートに関する技術の進歩発展に顕著な貢献をなしたと認められるものに贈られるものです。

今回、技術賞を受賞した「建設施工現場の省人化と CO₂ 削減を同時に達成するコンクリート技術」は、国立研究法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業であるグリーンイノベーション基金の一環として、鹿島、デンカ、竹中工務店ら55団体で構成する研究開発チーム「CUCO」の一部のユニットが開発したものです。本技術は、プレキャストコンクリート工場から排出されるスラッジにボイラー排ガスを吸着させて作られる炭酸カルシウムを用いて高流動コンクリートとすることで、i-Construction が目指す建設施工現場の省力化を実現するものです。本技術では、CO₂を分離回収するのではなく、ボイラーから排出されるガスをそのまま使用することが可能であり、CO₂削減と施工の省力化による生産性向上を同時に達成することが期待され、今後のコンクリート分野への貢献が評価されたものです。



JCI 西山会長から賞状と楯を受け取る
鹿島 坂田執行役員



左から鹿島 渡邊グループ長、坂田執行役員、
竹中工務店 村上常務執行役員、日本コンクリート
工業 八木部長